



幼稚園だより

令和2年度
7月号

令和2年7月1日
文京区立湯島幼稚園

自分で考える

園長 前田 宏子

梅雨の季節になりました。雨が降るごとにだんだんと暑さが増してきているように感じます。子どもたちは暑さにも日差しにも負けずに、砂場で水を使ってダイナミックに遊んだり、ビーチサンダルを履いて色水遊びを楽しんだりしています。その姿を見ると、夏が近づいてきていると感じます。

6月1日から分散登園で始まり、始業式・入学式があり、そろそろ一か月が経ちます。あっという間の一か月でした。いつもとは違った時間での登降園の送り迎えにご協力いただき、ありがとうございました。リズムをつかむことも難しかったと思います。その中でも子どもたちは楽しいことを見つけて、逞しく遊び出していました。いつもとは少しずつ違ったことのある幼稚園での生活ですが、子どもたちは子どもたちなりに考えながら過ごしています。

6月22日から5歳児ゆり組のクラスではお弁当を食べ始めました。新しい生活様式を考えながらのお弁当の開始です。保護者の皆様にご協力をいただき、おにぎりやサンドイッチなど簡単に食べることができるお弁当を用意していただきました。担任はどうしてお弁当がいつもと違うのか理由を説明しながら、どうやってお弁当の時間を過ごすよいか、など子どもたちに問いかけます。すると、子どもたちから「あまりおしゃべりをしない」「早く食べる」など自分たちなりに考えたことを伝え合います。お弁当の場面だけではなく、一つ一つの活動に「どうしたらよりよくできるか？」を考えながら動いています。

各ご家庭でウィルス対策をお話になっていることも子どもの意識を高めている一つになっていると思います。その上に、自分で考えて行動する力が育っていることを感じます。「さあ、考えてみよう」と問いかけるだけでは答えを出すことが出来ません。3歳児、4歳児での遊びの中で「自分たちで考える」という小さな積み重ねがあったからこそ、この姿があるのだと思います。

よく言われることですが、このようなテストでは測れない“非認知的能力”こそが生きる力となります。これからも遊びを通して“自分で考える”子どもを育てていきたいと思っています。

例年とは違う1学期となりました。保護者の皆様のご理解、ご協力をいただいたおかげで、子どもたちは幼稚園で元気に遊ぶことが出来ました。心より感謝いたします。

また、例年とは違う夏休みが待っています。どうぞ子どもたちと一緒に楽しく出来ることを考えていただき、元気に過ごしてください。